

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費

項：社会福祉費

目：老人福祉費

事業名 認知症疾患医療センター運営事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 在宅医療福祉係

電話番号：058-272-1111(内3281)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 27,686 千円 (前年度予算額： 33,335 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	33,335	16,667	0	0	0	0	0	0	16,668
要求額	27,686	13,843	0	0	0	0	0	0	13,843
決定額	27,686	13,843	0	0	0	0	0	0	13,843

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

急速な高齢化の進展に伴い、今後、認知症の増加が見込まれるため、認知症疾患に関する早期診断・早期治療を行うとともに、地域の医療・福祉との連携を図ることを目的として、「認知症疾患医療センター」を県内の8病院に設置している。

同センターは、認知症疾患に関する鑑別診断、周辺状況と身体合併症に対する急性期治療、専門医療相談等の実施のほか、保健医療・介護関係者への研修実施など、地域における認知症疾患の保健医療水準向上の役割を担っている。

(2) 事業内容

- ・専門医療相談、認知症の鑑別診断・治療、身体合併症・周辺症状への急性期対応、関係機関との連携、研修会の開催等
- ・介護支援専門員等の専門職による認知症の人の日常生活支援相談の実施

[設置状況]

医療機関名	種別	圏域
公益社団法人岐阜病院	地域型	岐阜
医療法人香風会黒野病院	地域型	
岐阜市民病院	連携型	
医療法人静風会大垣病院	地域型	西濃
医療法人清仁会のぞみの丘ホスピタル	地域型	中濃
医療法人春陽会慈恵中央病院	連携型	
医療法人仁誠会大湫病院	地域型	東濃
医療法人生仁会須田病院	地域型	飛騨

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫負担 1 / 2 (介護保険事業費補助金)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	27,686	地域型3,621×3、地域型3,721×1、 地域型7,585×1、地域型1,910×1、 連携型1,464×2、 抗アミロイドβ抗体薬加算679×1
合計	27,686	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第9期岐阜県高齢者安心計画「施策の推進」(認知症施策の推進)に位置付けられている。

(2) 後年度の財政負担

認知症疾患医療センターを継続的に運営するためには、毎年度において予算措置が必要。

(3) 事業主体及びその妥当性

県内において地域の認知症疾患医療拠点となりうる医療機関を指定(現在5圏域8病院内に設置済)

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 認知症に関する専門医療の提供や専門医療相談、また地域連携の役割を担う認知症疾患医療センターを継続して設置する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

認知症を早期発見・早期診断し、適切な治療につなげるための体制整備として、認知症疾患医療センターの継続的な設置運営を目標としているため。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・設置センター数 8箇所（基幹型1、地域型6、連携型1） ・相談件数 3,346件（うち電話相談2,357件） ・鑑別診断件数 2,383件 認知症疾患に関する鑑別診断、周辺状況と身体合併症に対する急性期医療、専門医療相談、地域保健医療・介護関係者への研修等を実施している。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・設置センター数 8箇所（基幹型1、地域型6、連携型1） ・相談件数 2,843件（うち電話相談1,927件） ・鑑別診断件数 2,271件 認知症疾患に関する鑑別診断、周辺状況と身体合併症に対する急性期医療、専門医療相談、地域保健医療・介護関係者への研修等を実施している。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・設置センター数 8箇所（基幹型1、地域型6、連携型1） ・相談件数 2,721件（うち電話相談1,854件） ・鑑別診断件数 2,502件 認知症疾患に関する鑑別診断、周辺状況と身体合併症に対する急性期医療、専門医療相談、地域保健医療・介護関係者への研修等を実施している。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	認知症高齢者とその家族が尊厳を保ちながら住みなれた地域(在宅)で穏やかな生活を送ることができるようにするために、
3	認知症を早期発見・早期診断し、適切な治療につなげることができる体制の整備が必要であり、事業の必要性は高い。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	各センターにおいて、専門医療相談が実施され、地域毎に認知症疾患医療連携協議会が設置・開催されるなど、有効に機能している。
2	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	定期的に各認知症疾患医療センターの担当者を集めた担当者会議を開催し、各センターの実施状況等を情報共有することで、事業の効率化を図っている。
1	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 高齢化の進展に伴い、今後更に認知症高齢者の増加が予測されるため、地域の認知症疾患医療拠点として、機能強化・地域連携の促進を図っていく必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き、地域の認知症疾患医療センターを設置・運営し、市町村、地域包括支援センターや介護施設等、関係機関との連携強化を進めていく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	